

事項	県南地域における小麦品種「ネバリゴシ」の高品質安定生産のためのは種期とは種量		
ねらい	平成13年に奨励品種に指定されためん用小麦「ネバリゴシ」は、キタカミコムギより早生で耐寒雪性・耐倒伏性が強く、穂発芽しにくいことから、まず県南地域で本格的な栽培が開始された。「ネバリゴシ」の高品質安定生産には苗立率と越冬性が重要であるが、これを向上させる県南地域におけるは種期とは種量が明らかとなったので、参考に供する。		
指導 参考 内容	<p>1 県南地域における「ネバリゴシ」のは種期は、生育、収量、品質等から判断して、9月第4～第5半旬が適する。</p> <p>2 県南地域における「ネバリゴシ」のドリルまきのは種量は、生育、収量、品質等から判断して、a当たり0.6～0.8kg（165～220粒/m²）が適する。</p> <p>3 やむを得ない事情で9月第6半旬以降には種する場合は、0.2kg/a程度は種量を増やす。</p>		
期待される効果	県南地域において「ネバリゴシ」の安定生産が図られる。		
利用上の注意事項	<p>1 は種量が多いと倒伏及びうどんこ病の発生が多くなる。</p> <p>2 10月以降のは種では、越冬前後の生育量確保が難しく、穂数が少なくなるために減収し、製粉性や粉色が低下する。</p>		
担当	青森県畑作園芸試験場 作物改良部	対象地域	県南地域
発表文献等	平成12～13年度 青森県畑作園芸試験場成績概要集 東北農業研究 第54号		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 は種適期の解明に関する試験結果 (平成12~13年 青森畑園試)

は種量 (月/日)	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	乾物生産量 (g/m ²)			うどんこ病	寒雪害程度	倒伏程度	穂数 (本/m ²)	子実重 (kg/a)	同左対比 (%)	千粒重 (g)	リットル重 (g)	品質概評
			越冬前	越冬後										
平成11年播			11/26	4/11	5/16									
9/14	5/24	7/5	286	444	1,469	2.0	0.3	1.3	776	66.1	100	31.6	781	2.3
9/21	5/25	7/7	227	255	1,086	1.3	0.0	0.7	784	66.3	(100)	30.9	772	1.3
9/28	5/27	7/10	109	194	830	1.3	0.0	0.0	734	61.0	92	32.1	798	1.3
10/5	5/29	7/14	30	128	593	1.0	1.0	0.0	590	47.8	72	33.5	790	1.7
平成12年播			11/20	4/10	5/9									
9/16	5/22	7/6	196	275	949	1.5	0.7	0.0	632	53.9	84	33.6	806	2.7
9/21	5/24	7/10	177	302	801	0.8	0.4	0.0	681	64.0	(100)	35.3	808	2.0
9/28	5/26	7/11	73	196	543	0.5	0.7	0.0	602	63.9	100	36.8	788	2.0
10/5	5/27	7/15	78	51	376	0.5	0.9	0.0	447	49.5	77	37.5	792	2.7

(注) は種量0.8kg/a

表2 適正は種量の解明に関する試験結果 (平成12~13年 青森畑園試)

は種量 (kg/a)	は種期 (月/日)	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	乾物生産量 (g/m ²)			うどんこ病	寒雪害程度	倒伏程度	穂数 (本/m ²)	子実重 (kg/a)	同左対比 (%)	千粒重 (g)	リットル重 (g)	品質概評
				越冬前	越冬後										
平成11年播				11/26	4/11	5/16									
0.6	9/21	5/25	7/7	135	243	1,022	1.3	0	0.3	747	67.5	100	34.0	792	1.3
0.8	9/21	5/25	7/7	228	271	1,103	1.0	0	0.3	729	67.3	(100)	33.6	793	1.3
1.0	9/21	5/25	7/7	248	279	1,397	2.3	0	0.7	773	68.2	101	33.2	788	1.3
1.2	9/21	5/25	7/7	278	294	1,465	2.7	0	1.5	785	68.8	102	33.2	782	1.7
平成12年播				11/20	4/10	5/9									
0.6	9/16	5/22	7/6	161	225	845	0.5	0.2	0.0	603	61.1	95	34.4	805	2.0
0.6	9/21	5/24	7/10	140	246	687	0.5	0.2	0.0	559	62.0	97	35.5	810	2.0
0.6	9/28	5/26	7/11	58	137	427	0.5	0.5	0.0	506	55.2	86	36.9	790	2.0
0.8	9/16	5/22	7/6	196	275	949	1.5	0.7	0.0	632	53.9	84	33.6	806	2.7
0.8	9/21	5/24	7/10	177	302	801	0.8	0.4	0.0	681	64.0	(100)	35.3	808	2.0
0.8	9/28	5/26	7/11	73	196	543	0.5	0.7	0.0	602	63.9	100	36.8	788	2.0
0.8	10/5	5/27	7/15	78	51	376	0.5	0.9	0.0	447	49.5	77	37.5	792	2.7
1.0	9/21	5/24	7/10	162	250	660	1.2	0.3	0.3	687	63.5	99	35.3	813	3.0
1.0	9/28	5/26	7/14	74	188	632	0.5	0.8	0.3	614	64.1	100	36.3	797	3.3
1.0	10/5	5/27	7/15	38	92	731	0.5	1.0	0.0	643	65.3	102	35.7	794	2.7
1.2	9/21	5/24	7/10	181	342	946	1.5	0.8	0.7	702	61.7	96	34.1	804	3.3
1.2	9/28	5/26	7/14	88	208	898	0.5	1.2	0.3	630	60.2	94	36.2	798	3.3
1.2	10/5	5/27	7/15	47	116	735	0.5	1.0	0.0	631	57.9	90	36.0	792	2.3

(注) 1 病害、障害程度 無(0)~甚(5)
 2 品質概評 上上:1、上中:2、上下:3、中上:4、中中:5、中下:6、下:7
 3 6kg/10a:165粒/m²、8kg/10a:220粒/m²、10kg/10a:275粒/m²、12kg/10a:330粒/m²

表3 製粉試験結果 (平成12~13年 東北農試)

試験区の内容	製粉歩留 (%)	A粉歩留 (%)	A粉割合 (%)	水分含量 (%)	R V A		反 射 率			A粉蛋白 含 量 (%)	
					M V R V U	B D R V U	R455 (%)	R554 (%)	D455-D554		
は種期	9/14	68.9	49.6	72.0	13.7	237	105	51.6	66.2	0.108	8.0
	9/14	67.1	47.5	70.9	13.7	237	111	51.3	66.1	0.110	8.0
	9/28	67.1	49.0	73.0	13.7	229	108	51.0	66.1	0.112	7.4
	10/5	65.2	46.5	71.3	13.6	224	108	51.3	65.6	0.107	8.3
は種量	0.6kg/a	67.6	49.6	73.4	13.3	235	100	52.1	66.2	0.104	8.0
	0.8 "	65.0	43.3	66.7	13.5	228	108	51.5	66.1	0.108	7.7
	1.0 "	65.5	48.5	73.0	13.4	241	106	51.5	66.2	0.109	7.5
	1.2 "	65.9	46.8	71.0	13.5	226	103	51.5	66.2	0.109	8.2

(注) 1 R V A=ラビッドビスコアナライザー、A粉蛋白含量は近赤外分光分析計で分析
 2 R V A値は澱粉糊化特性を示すもので、MVは最高粘度(大きい方がよい)、BDは最高粘度と最低粘度の差(大きい方がよい)を示す
 3 反射率R455は粉の白さ、D554は粉の明るさ、D455-D554は粉の黄色味を表す